

しかはま自然観察会	代表責任者 古高 利男
<h1>のらえもん</h1>	☎270-1132
	我孫子市 湖北台2-14-7
『人も 自然も みんなともだち !』No. 16	☎09072759890
	2011, 2, 25 (金)

## 第16回活動「染色体験」

・・・どんな色にそまるかな？・・・

\*日時：2011年2月5日（土）10:00～12:00

\*場所：都市農業公園工房

\*講師：自然環境館 山下様、外村様、長井川様の皆さま

*参加者：	家族13	内訳	大人	16		
			子ども	15		
			幼児	5		
			合計	36	スタッフ1	総計37



### \*活動の様子

「媒染（色を布に定着させるもの）は田んぼの泥」と聞いて、参加者は{?}と驚きの声を上げました。「土でそまるの？」という疑問がわいてきたのです。

講師のお話によると、田んぼの土の中には鉄分が含まれており、その鉄分が媒染の役目をするということでした。そして、田んぼに連れていってくれました。「少し、湿っているぐらいの土の方が、よく染まります」「畑の土は、酸素と化合していて、鉄分は少ないよ」「握りこぶしぐらいの大きさの土を3個、とってね」子どもたちの中には、早速、泥団子作りが始まりました。（こんなのも、発展として、いいですね）

染める液は、シャリンバイ（車輪梅）の幹・枝をじっくり煮たてたものです。何度も煮出してつくるそうです。

シャリンバイ（車輪梅）は、白い花を咲かせ、秋にはブルーベリーのような実をつけます。海浜にたくさん生育していますが、足立区は学校や都市農業公園のまわりに植えられています。テントウムシの住み家にもなるそうです。昔から染色につかわれており、奄美大島の「泥染め」は特に有名です。

公園内のミニ遊園地のそばに工房があります。この工房にはいろいろな設備が整っており、泥をいじくりながら「染色体験」するには最適の環境です。

いよいよ講師の説明がはじまり、活動の開始です。

### 泥染めの手順

染液・・・シャリンバイ      媒染剤・・・田んぼの土

- ① 模様作り・・・白いハンカチに、牛乳や輪ゴムでしぼり模様をつくりまします。牛乳で書いたところには色が濃くつきます。なんでも、タンパク質があると色づきがいいとのこと。輪ゴムでしぼったところは、色が入りません。ですから、そこは白い模様になります。
- ② シャリンバイの染液につけて、10分以上煮立てます。

- ③ その間に、田んぼへ行き、湿り気のある土を、こぶし大3～5個とります。(ここで、泥団子づくりや泥投げがあってもいいですね。)
- ④ 工房に戻り、田んぼの土に少しずつ水を加えておかゆのような土にします。(子どもたちは、とつてもたのしそう!)
- ⑤ おかゆ状の土のなかに、染液で煮立てていたハンカチを入れます。
- ⑥ 土とハンカチを、よくもみます。空気に触れさせながら、とにかくよくもむことです。(子どもたちは腕まくりをして、だんだんと本領を発揮してきました)。
- ⑦ もう一度、煮立った染液の中に、ハンカチを入れます。
- ⑧ 取り出して、また、土の中で、よくもみます。(この工程をあせらず、ゆっくり続けることが、濃く染まるポイントのようです)
- ⑨ 輪ゴムをとり、よく水洗いをします。土をしっかりと落とします。(泥をしっかりと落とし、水洗いをていねいにします)
- ⑩ アイロンで、乾かします。
- ⑪ 完成!世界に一つしかないマイハンカチの完成です。(家で、お風呂にはいったとき、もう一度水洗いするといいですね)

田んぼの土いじりが始まると、子どもたちは腕まくりをしズボンの汚れを気にしません。気にしだしたのは、保護者の方々でした。汚れ(?)を心配して真っ白なタオルで拭いてあげようとしません。が、泥いじりが始まってしまったら、もう子どものペースでした。そんなことが良かったようで、すばらしい模様のハンカチが次々に出来上がりました。

3人の講師の方々は、ていねいに・やさしく教えてくれました。道具も、細かいものまできちんとそろえてくれていました。「やっぱり、プロだなー」と、感心しました。そして、学ぶことがたくさんありました。

講師の皆さん、ありがとうございました。

### 反省・・・これからの活動の充実を図るために・・・

#### その① 10時の開始が、大きく遅れたこと

今日は、全体的に出足がゆっくりでした。講師の方々に「お願いします」と言えたのは、もう15分も過ぎていました。12:00には終了しなければなりません。そのため、活動内容を短くしたところが出てきました。今後は、受付時間を書きます。そして、10:00には始められるようにします。ご協力の程、よろしく願いいたします。

#### その② のらえもんのスタッフが少なかったこと

一人でした。そのため、受付・相談・司会などの役目を一度にすることになりました。このことも、開始の遅れた大きな原因でした。申し訳ありませんでした。スタッフの人数をしっかりと確保したり、役割分担をはっきりさせて、スムーズな活動を心がけていきます。

#### その③ ふりかえりができなかったこと

すばらしい作品を、お互いに見合うことができませんでした。とても残念でした。お友だちの作品をみることは、自分の作品を振り返ることにもなります。ふりかえりをするすることで、のらえもんの共有感を高めていきたいと思ひます